



佐藤邦栄君に 決定

一般社団法人新潟青年会議所
第60代理事長候補者

佐藤 邦栄君 JCI歴

- | | | | |
|-----|------|--------------|-----|
| 07年 | LOM | オリエンテーション委員会 | 委員 |
| 08年 | LOM | 総務委員会 | 幹事 |
| 09年 | LOM | 事務局長 | |
| 10年 | LOM | 道徳の真理委員会 | 委員長 |
| 11年 | LOM | 副理事長 | |
| | ブロック | 副会長 | |
| 12年 | LOM | 監事 | |
| | 日本 | 財政審査会議 | 議長 |
| 13年 | LOM | 会員拡大成会議 | 議長 |



上：監事予定者 川崎隆二君 下：監事予定者 池田祥護君



左から、監事予定者 川崎隆二君・理事長候補者 佐藤邦栄君・監事予定者 池田祥護君



7月10日（水）ホテルオークラ新潟にて開催された第2回定時総会で、2014年度一般社団法人新潟青年会議所理事長候補者並びに監事予定者の信任投票が行われました。投票の結果、理事長候補者に佐藤邦栄君、監事予定者に川崎隆二君、池田祥護君が選出されました。

第60代理事長候補者
監事予定者決定！

艱難辛苦汝を玉にす



理事長候補者

佐藤 邦栄(さとう くにあい)君

2007年11月入会

1975年9月30日生まれ(37歳)・血液型：B型

株式会社千代田開発

—— 候補者に選ばれた率直な感想をお聞かせください。

信任いただいた皆様に感謝申し上げます。やるしかない、やってやる！です。

—— 新潟J.C.に入会後、成長したところは何ですか。

1番はコミュニケーション能力、多くのメンバーと関わりを持つことで磨き高められていると感じます。2番はリーダーシップ、多くの役職を経験した中で、時と場に応じて牽引する力や人を巻き込む力が養えていると思います。社業は、入会と同時に1人で会社を始めて現在は数名いるので、少しずつですが着実に成長しています。

—— 今までのJ.C.生活の中で一番印象に残っている出来事は何ですか？

議長・委員長職を3回担いましたが、3回とも達成感が大きくて（1回は現在進行中ですが）。どれも苦労しましたが、全う出来たことが自信に繋がっています。特に、日本J.C.の議長で、初めて東京のJ.C.会館に呼び出された時は、あまりの酷さに新潟に逃げ帰ろう（涙）としましたが、我慢してやり遂げることが出来て大きな自信に繋がりました。

—— 新潟J.C.の魅力や好きなところを教えてください。

本気で物事に打ち込める環境を与えてくれること、そして多くの仲間に出会えること。特に「己の人のようになりたい」と憧れる先輩や、「この1人だけでは絶対負けたくないぜ」と本気で思えるライバル（終生の友）と出会えることです。

—— 新潟の魅力や好きなところを教えてください。

東京に5年、北九州に2年ほど居住しましたが、誇れるものは「多彩な食文化」「日本一の信濃川」「実直で我慢強い人間性」です。

—— 座右の銘を教えてください。

「念ずれば花開く」2014年度のスローガンにしたいと思っていましたが、本年度新津J.C.の中野理事長にスローガンとして使われてしまったので・・・、やめておきます。
「艱難辛苦汝を玉にす」J.C.にピッタリの言葉です。

—— 尊敬する人を教えてください。

「父」です。常に背中を見て育ってきました。苦勞人で厳しい人ですが、ユーモアがあり、そのギャップに憧れます。

—— 愛読書を教えてください。

人間学を学ぶ月刊誌、月間「致知」

—— 両監事予定者に向けて一言お願いします。

2009年、委員長をした時の担当室長が川崎隆二監事予定者です。呼んでもいないのに、いつも委員会の飲み会に交差する感じ・・・（笑）。そはの更科に行かないと帰してもらえませんでした。本年度も会員拡大育成会議で活動を共にし、お互いを深く知った仲なので、やりやすい面もあります。ラストイヤー、失うものは何もない、適度に暴れていたいただきたいと思っています。

2011年の世界会議inベルギー プリユッセル大会、当時私は、日本J.C.議長予定者として参加しましたが、何やら壇上で表彰されている、やつれた顔の池田祥護監事予定者を見て、LOMの役職は放ったらかしだと、世界では活躍しているなと思ひ心底応援しよう心に決めました。後日、その表彰は寄付をした人全員が貰えることを知り、私も1000\$寄付して表彰されました・・・、次年度も引き続き、世界を羽ばたくことになりましたが、LOMのスケジュールはあなたに合わせますので（激務）

—— 最後に次年度に向けて抱負をお願いします。

継承、創造、そして進化。

60周年の節目の年、第60代の理事長となりますが、新潟J.C.を70年、いや100年を見据えて成長し続けるLOMにするべく全力で牽引して行きたいと思っています。

上昇・常勝・常笑



監事予定者

川崎 隆二(かわさき りゅうじ)君

2006年11月入会

1974年11月5日生まれ(38歳)・血液型：A型

有限会社川崎保険事務所

—— 予定者に選ばれた率直な感想をお聞かせください。

率直にびっくりしました。身の引き締まる思いです。

—— 新潟J.C.に入会後、成長したところは何ですか。

いろいろありすぎて・・・、時間の使い方ですね。

—— 今までのJ.C.生活の中で一番印象に残っている出来事は何ですか？

うーん。やっぱり2009年の委員長の時ですね。広報委員会ってLOMのすべてが分かる、すばらしい委員会です。

—— 新潟J.C.の魅力や好きなところを教えてください。

やっぱりメンバーひとり一人のスキルが非常に高いところ。

—— 新潟の魅力や好きなところを教えてください。

平和なところ。

—— 座右の銘を教えてください。

座右の銘ではないですが、好きな言葉は「上昇・常勝・常笑」。

—— 尊敬する人を教えてください。

イチロー。野球の実力だけではなく、人としても礼儀正しく堅実で聡明、生き方が同じ日本人として誇りに思います。

—— 愛読書を教えてください。

週刊ダイヤモンド。

—— 理事長候補者に向けて一言お願いします。

1年間、健康には気を付けて頑張ってください。

—— 最後に次年度に向けて抱負をお願いします。

60周年という記念すべき年に、また個人的にはラストの年に監事という役職をさせていただくので、今までの経験を活かし、精一杯役職を全うする覚悟です。

感謝の心を持って 誠を尽くす



監事予定者

池田 祥護(いけだ しょうご)君

2009年11月入会

1978年9月25日生まれ(34歳)・血液型：A型

学校法人新潟総合学院

—— 予定者に選ばれた率直な感想をお聞かせください。

恐縮です。

—— 新潟J.C.に入会後、成長したところは何ですか。

失敗を恐れずチャレンジすること。

—— 今までのJ.C.生活の中で一番印象に残っている出来事は何ですか？

仮入会当時、嫌で嫌で何度も辞めようと思っていたにも関わらず、すっかりJ.C.にのめり込み、すべての年度で多くの修練を頂いております。思い出がありすぎて振り返るのは卒業までとっておきます。

—— 新潟J.C.の魅力や好きなところを教えてください。

厳しい中にも笑いあり、やさしさあり、誠実に取り組む姿勢が溢れるメンバー。

—— 新潟の魅力や好きなところを教えてください。

雪が舞う時期も好きだし、我慢強く乗り越えた春など明確な四季折々、そして住みよい人の優しさが溢れる街。

—— 座右の銘を教えてください。

感謝の心を持って誠を尽くす。

—— 尊敬する人を教えてください。

自分の意思を貫き、人生挑戦している人。

—— 愛読書を教えてください。

伝記、ノンフィクションが多いかな。

—— 理事長候補者に向けて一言お願いします。

佐藤邦栄理事長候補者のLOM、ブロック、日本という多くの活躍の機会、私も頑張っております。60周年を迎える大変な年になると思いますが、らしさを十二分に発揮し邁進してください！

—— 最後に次年度に向けて抱負をお願いします。

この度、監事として選任頂いたことに、改めて身が引き締まる思いです。微力ではございますが、今まで経験させていただいたことを活かし、監査が出来ればと思っております。宜しく申し上げます。



川崎 隆二君 J.C.歴

06年	LOM	オリエンテーション委員会	委員
07年	LOM	貢献力育成委員会	幹事
08年	LOM	地域問題意識変革委員会	副委員長
09年	LOM	広報委員会	委員長
10年	LOM	道徳・教育室	室長
11年	LOM	郷土の力探求委員会	委員
	日本	ナショナル・アイデンティティ確立会議	委員
	ブロック	Interaction NIIGATA 委員会	委員
12年	LOM	副理事長	
13年	LOM	会員拡大育成会議	委員
	ブロック	副会長	



池田 祥護君 J.C.歴

09年	LOM	オリエンテーション委員会	委員
10年	LOM	オリエンテーション委員会	幹事
	日本	セクレタリーグループ	会頭補佐
11年	LOM	事務局長	
	J.C.I	会頭 Personal Assistant	
	日本	JCI 関係委員会	業務委員
12年	LOM	自立した国際都市策定委員会	委員長
	日本	国際アカデミー委員会	副委員長
13年	LOM	副理事長	
	J.C.I	JCI-APDC The Chairman	
	日本	総務委員会	委員長